

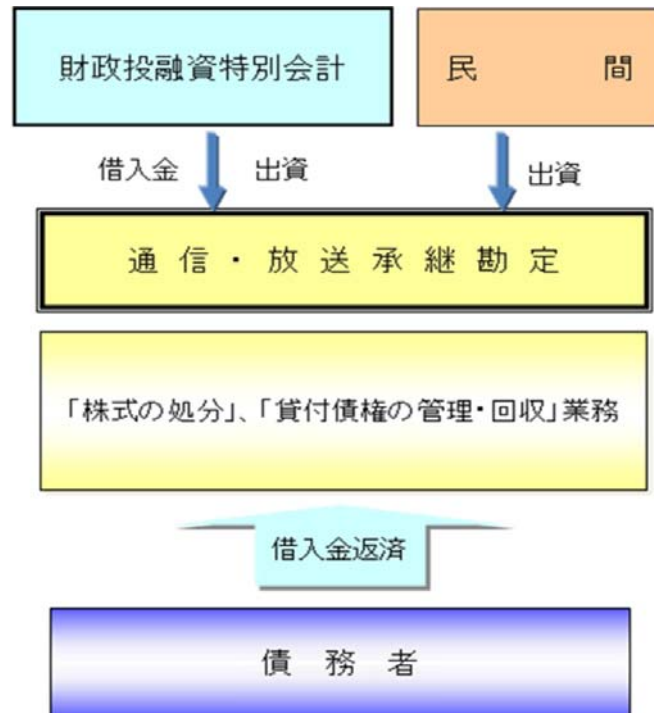
## 3.13.5 産業振興部門 成果融資管理室

室長 酒瀬川秀隆 ほか1名

## 通信・放送承継業務の完了に向けた取り組み等

## 【概要】

- ① 第3期中期計画に基づき、承継勘定平成23年度期首純資産額186.8億円中、既往案件の管理業務等の経費に係る必要最小限の資産を除き、不要資産を平成24年3月末に約150.9億円(民間分約0.4億円を含む)国庫納付及び民間出資者へ払い戻しを行った。
- ② 承継時46社38億円であった貸付残高は回収が進んだ結果、平成24年3月末現在、3社32百万円となった。
- ③ 民間基盤技術研究促進制度に係る研究成果の普及、収益等の納付並びに研究開発資産の処分を行った。



## 【平成23年度の成果】

- ① 通信・放送承継勘定中、管理業務等の必要経費を除く不要財産について平成24年3月末に約150.9億円(民間分約0.4億円含む)国庫返納及び民間出資者へ払い戻しを行った。
- ② 承継融資債権の回収は、約定償還計画に基づき債権を適正に管理し、回収額の最大化に向け取り組みを行った。その結果は概ね順調であり、平成24年度期首残高32百万円(3社)となった。
- ③ 破産更生債権(実質破綻先)で約定償還延滞中の1社については、平成22年度と同様のまま内入れを継続させ、その履行状況を監督しつつ、業況に注視しながら回収額の最大化に向け取り組んだ。また、一般債権(要注意先)の1社についても引き続き業況を慎重に注視しながら円滑な回収に努めた。
- ④ 平成23年度の資産自己査定は、融資先企業の決算報告書、法人税申告書等をベースにした決算分析、担保不動産及び保証人の再評価、キャッシュフローによる債権償還能力等の算定を継続して平成24年3月末に確定した。
- ⑤ 特別融資(特別融資:元金の一部を免除する代わりに融資対象成果の売上の一部を納付)に係る平成23年度売上納付として14千円、累計納付額は4,683千円となった。
- ⑥ 民間基盤技術研究促進制度に係る委託研究開発成果を、6月のInterop Tokyo2011出展に次いで10月にCEATEC JAPAN2011へ出展し、普及、ビジネスマッチングに努めた。
- ⑦ 民間基盤技術研究促進制度に係る売上納付契約に基づき売上納付額が生じた受託者に対し、実地調査等により納付額を確定し、請求、納付手続きを行った。
- ⑧ 民間基盤技術研究促進制度に係る研究開発資産について受託者へ買取処理を行った。